



# ふじみ

題字：福田 常雄 氏

## 第 150号

平成29年 4月 1日

発行人 社会福祉法人みちのく協会  
責任者 理事長 工 藤 和 子  
施設 特別養護老人ホーム富士見荘  
地域密着型介護老人福祉施設はらの里  
松尾デイサービスセンター  
ケアハウスアーベイン八幡平  
介護相談所陽だまり  
(富士見荘指定訪問介護事業所・富士見荘指定居宅介護支援事業所)

岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1  
電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467  
E-mail fujimiso@rnac.ne.jp  
URL http://www.rnac.ne.jp/~urbane/

### 「新年度を迎えて」

社会福祉法人みちのく協会

理事長 工 藤 和 子

日ざしがやわらかくなり、春の訪れを身近に感じられる気候になりました。

と同時に、新しい年度を迎え、一層身を引き締めなければならぬ時期でもあります。

日頃より特別養護老人ホーム富士見荘をはじめ当法人の各事業所をご利用いただいている皆さま、そのご家族、また地域の皆さま等多くの関係の皆さま方には、温かいご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度に社会福祉法の改正があり、社会福祉法人のあり方が厳しく問われることになりました。当法人として例外ではありません。

社会福祉法人としての活動の中で法令遵守はもとより、その透明度を高め、社会からの要請に真摯にこた

えるための組織づくり等取り組まなければならぬ課題が山ほど控えております。その中でも特に言われておりますのが、「地域への貢献」のあり方です。当法人の活動の中心である八幡平市全体の中で、当法人が果たすべき役割は何なのか、どのように取り組めばよいのかなど考えるべき課題は目の前にあります。これらの多くの課題を乗り越えてゆくには、より一層地域の皆さまと手をたずさえ、ともに歩んでいく姿勢がもっとも大切と考えております。

当法人の基本理念である「愛と献身」をもうひとつの柱として、やさしく、互いに思いやる気持ちを大切にしながら安心して暮らせる施設づくりや事業の展開を、役員員心をひとつにして努めて参ります。

今後とも、当みちのく協会に対する厳しいお叱り、あたたかいご支援をよろしくお願い致します。

特別養護老人ホーム

# 富士見荘

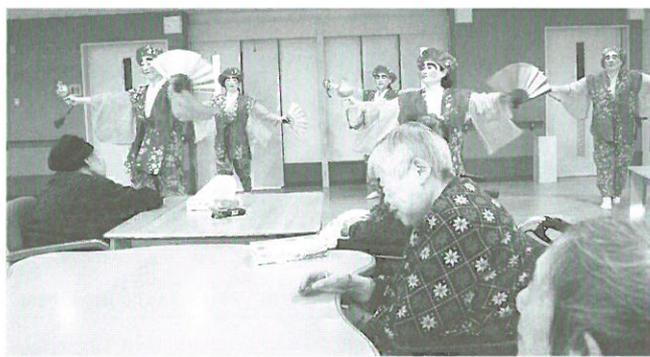
☎(0195) 78-2455

## 職員が大黒舞を披露しました

一月十八日、久しぶりに施設の中に笑い声が溢れました。昨年の五月に前理事長が急逝してしまい、施設は喪中ということもあり昨年中は何処となく静かでさびしい感じが漂っていました。

年が明け「今年は明るく良い年になるように」と看板娘たちが立ち上がり、ユーモラスに大黒舞いを披露してくれました。

(松尾)



## 布アート教室

二月三日、前日にアーベイン八幡平で毎月開催している「布アート」の佐藤先生から「材料が余ったから明日、富士見荘でも試しにやってみな」と声をかけてもらい、突然ではありましたが、シヨートステイをご利用の方に参加してもらい「お雛さまとお内裏さまのちぎり絵」に挑戦していただきました。それぞれのセンスで生地を選び貼り付けること一時間。額縁に入れるとあら不思議。お手本と違わず素敵な絵が出来上がりました。

(松尾)



## 富士見荘勉強会

二月二日に富士見荘で勉強会が行われました。今回は「看取り」をテーマに、看護職員が講師となって職員に講義を行いました。

看取りケアは、その人が最後まで尊厳を保って最期を迎える為のケアで、医療・福祉の現場で取り組みが拡大しています。富士見荘でも、これまで亡くなった方々に身体的な苦痛を軽減させることができなかったのか、もつと違う支援があったのではないかと、思い悩む職員もいます。残念ながら富士見荘での看取りケアは十分とは言えない状態ではありますが、勉強会で理解を深め、皆様の身体的、精神的な負担を軽減し、安らかな最期を迎えていただけるよう、研鑽に励んでいきたいと思えます。

(関川)



地域密着型介護老人福祉施設

はらからの里

☎(0195)  
68-7880

## はらからの里への思い

はらからの里 施設長 三戸 明裕

降り注ぐ陽光に、厚いマンツの樹皮を割く生命の芽吹きを音を楽しめるこの時季に、仲間たちと一緒に北帰行しないで、ひっそりと馬淵川のほとりに居る二羽の白鳥の光景に、淋しさと自然界の厳しさを痛感しながら、先行きが不透明で混沌とする福祉業界に乗り遅れないよう、新たな決意で、今年度の各種事業を正確かつ効果的に取り組んで参りたいと考えております。

私たちの「はらからの里」は、今年度で三年目を迎え、長期入居二九床、短期入所一〇床の小規模の施設ではありますが、八幡平市内の方々だけが入居できる地域密着型特別養護老人ホームです。当施設では、この特徴を活かし、地域と家族との結びつきを大切にしながら、地域の方々にご利用頂き、常に愛される施設づくりを目指して日々取り組んでおります。

「はらからの里」という名称は、既に皆様もご存じのとおり、故みちのく協会前理事長関口知男が、山田洋次監督の作品で、今から四十年前、旧松尾村の青年団の方々が、地域経済の活性化と団員の絆を深めるため、東京の劇団を招いて公演させ、成功を収めたという実話を基に描いた青春映

画「同胞（はらから）」から名称を頂き、名付けたと伺っております。後世に残したい想いと地域に愛され続ける施設になって欲しいと関口前理事長が願いを込めた想いに応えられるよう、日々精進していくことが私達の責務であると考えております。

激変する介護保険制度の下で、特別養護老人ホームを取巻く環境は依然として厳しく、制度改革ごとに施設のみならず、入居者まで負担が増す状況にあります。その背景には、「社会保障制度の持続可能性」を担保に、膨張する社会保障制度のサービスの抑制を図っているものと推測しております。

こうした現況下において、私達は、今一度、利用者目線に立ち、特別養護老人ホームの特別養護老人ホームたる役割・使命とは何かを追及し、地域、家族、そして入居者の方々の期待に応えられる働きをしていかなければならないと考えております。

そのためにも今年度は、当施設において、職員一人一人のケアの充実を図るため、介護力向上に向けたオムツはずしの介護支援と認知症介護における「見る」「話しかける」「触れる」「立つ」ことを基本とした人間らしく接するユマニチュアのケアを取り入れて、安心したサービスを提供していきたいと考えておりますので、昨年度同様、今年度も変らぬご支援・ご指導の程、よろしくお願ひ致します。

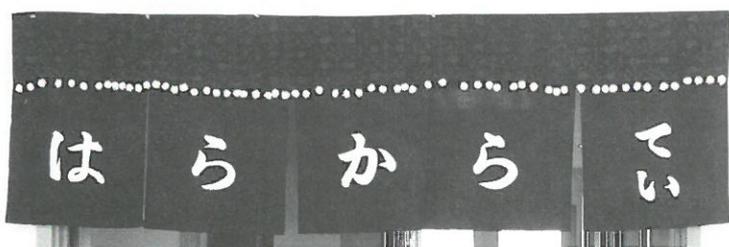
## 「はらからてい」開店しました。

今回よりはらからの里も機関誌に仲間入りしました。施設のことを皆様に知ってもらえるよう情報発信していきたいと思ひます。

さて、はらからの里では、入居者の要望を聞きながら、ときどき行事食を行っています。

三月三日のひなまつりには「握り鮭」を希望。クリスマス時期にも「握り鮭」を行い、それが大好評でした。栄養士が握り、その周りを入居者が回り、自分の食べたいお鮭を選びます。握っている目の前で食べることもできます。普段食べる量が少ない方も目を輝かせてお鮭を選び、魚が苦手な方も、美味しいと食べています。美味しいものの力はすごい。人を幸せにしてくれますね。

前回開催したときに、会場がなんだか殺風景で、何か装飾をすれば良かったと反省。そこで、「行事食」を「はらからてい」と命名し、得意な職員がのれんを作りました。今後も大活躍してくれそうです。次の「はらからてい」のメニューは何でしょう？



# 松尾デイサービスセンターだより

## デイサービスリニューアル作戦

平成六年四月に開設したデイサービスですが、月日の経過とともに劣化が目立ってきました。そこで、八幡平市からの補助を受けて、浴室改修と入浴リフトを更新する運びとなりました。工事は三月上旬に行われ、その間は富士見荘のホールを間借りして、デイサービス業務を行いました。利用者の皆様にはご不便をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

それから、地域の皆様へ柏台温泉と称し施設を開放しているのですが、そちらの和室も虫害があまりまして、改修しなければならなくなりました。こちらについては、スタッフの努力により何とか積み上げて来た資金を使い、カラオケ兼シアタールームにしたいと考えております。これにより余暇活動にバリエーションが増えて、より楽しいデイサービスになることをお約束いたします。デイサービスの定員までとわずかですので、まだデイサービスを利用したことがない方は、どうぞこの機会に一度お試しください。  
スタッフ一同よりお待ちしております。



## 新春どっぴき大会

「シャンシャンのシャン」の掛け声で今年も年明け恒例のどっぴき大会を行いました。皆さんに5mほどのロープを持っていただきますが、ロープの先に鈴等、飾りが付いていた人が当たり！となります。平等に皆さんに当たって欲しいのですが、なぜか当たる方は何回も当たり、残念ながら当たらない方も……。

景品は、いつもはチョコ菓子やせんべいですが、今年は、ポケットティッシュや台所スポンジも景品にできました。今年の一番人気景品はポケットティッシュでした。



## 節分行事

「鬼は外！福は内！」と、今年もデイサービスに大きい鬼、小さい鬼、優しい鬼と色々な鬼がやって来ました。

所で：「節分」の意味についてご存知ですか？節分とは本来「季節を分ける」つまり「季節の変わり目」の事を意味しているそうです。

昔は、季節の分かれ目には「邪気」が入りやすいと考えられていたそうで鬼に豆をぶつけることにより邪気を追い払い一年の無病息災を願う意味が込められており、「立春」は一年の始まりとして特に喜ばれたそうです。

デイサービスの鬼退治は柏台保育所、寄木保育所、松野保育所の可愛らしい園児の皆さんにも手伝って頂き無事、鬼退治することができました。  
園児の皆さんによる歌、踊り等も披露して頂いてこれまた皆さんの顔は福の顔（笑）豆をまいて頼もしい顔！  
今年も皆さんと仲よく楽しく笑いながら過ごして色々な表情を見守って行きたいと思っています。



八幡平市柏台二丁目9番地2号  
電話 〇一九五―七八―三七二〇

リゾート型ケアハウス  
**アーベイン八幡平**  
 ☎(0195) 78-2710

「季節とともに」

ケアハウスアーベイン八幡平  
 施設長 箱石 裕

春のうららの……と歌われる四月になりました。この時期のアーベイン八幡平の周辺は春まだ浅きという様子が残っていますが、年度がわりを迎えて、気持ちを新たに作る時期でもあります。

平成二十八年度をふりかえってみますと、関口前理事長の急逝という大きな出来事もありましたが、利用者の皆様には事故等もなく無事に過ごされたということが何よりだったと思っておこされます。さらに言えば我田引水ながら予定していた行事や事業が順調に推移したこともひとつの安心でした。このことは利用者の皆様はもとよりそのご家族、地域の関係の方々など多くの人たちの温かいご支援があったからこそと改めて深く感謝を申し上げる次第です。

アーベイン八幡平は平成七年にケアハウスとして誕生し、二十余年が経過しております。

この間、その名に恥じぬように、「洗練された」サービスの提供、暮らしやすい住環境を整えることを目標に様々な事業に取り組んできました。介護保険法に基づく「特定施設入居者生活介護」もそのひとつであり、又、医療機関への送迎サービスもその中で生まれたものでした。一方、手芸や合唱などの趣味文化活動の形づくりもほぼできあがっております。

このようにして、入居されている皆様やそのご家族、そして地域の皆さまに喜んでいただけるような施設づくりに務めてきました。二十九年度におきましても、今まで続けてきている事業ひとつひとつについて、見直しをし、改善すべきところは改善しながら、さらに充実、前進するように取り組むことが何より大切と考えております。

今後とも、あたたかいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いします。



酒処 あーべいん

現在、ケアハウスアーベイン八幡平では、九月・十二月・一月を除く月一回居酒屋を開催しております。夕食の際に、つまみとお酒を低額な料金（私が担当になってからは、ほぼ赤字）で提供させていただいております。

つまみに関しては、良い時とそうでない時との差がありますが、毎回どのようなつまみを提供させていただくか、栄養士と相談しながら考えております。その中でも定番メニューがあり枝豆とバーニアイスです、真冬でもなぜか約半数の方がバーニアイスを注文してくださいませ。

- お酒のメニューにつきましては、
- ・ビール
  - ・ノンアルコールビール
  - ・赤ワイン（んがど おれ）
  - ・白ワイン（んがど おれ）
  - ・日本酒
  - ・麦焼酎
  - ・梅酒
  - ・杏露酎
  - ・ソフトドリンク各種
- をご用意させていただいております。

ワインにつきまして、今月は葛巻

ワインの飲みやすい「ナドール」語源は「んがど・おれ」です。

日本酒につきましては、担当（遠藤）が興味あるという理由で、純米や吟醸のほか低アルコール原酒などめずらしい日本酒を用意させていただくこともあります。

また、東日本大震災で被災されました赤武酒造様の盛岡復活蔵を訪問させていただいた際は、古館秀峰社長が自ら対応してくださり、とても美味しい酒粕を一俵いただき感謝申し上げます。長男の古館龍之介氏も杜氏であり、彼の作る（育てた）日本酒「AKABU」は、新しい未来を感じるとても美味しい日本酒でした。

二月の居酒屋では、赤武酒造様の「浜娘」と「AKABU」を提供させていただきます。どちらの日本酒もそれぞれ美味しかったよ」と声をかけていただきました。（遠藤）



2月居酒屋の日本酒とワイン

# 愛

筆 流

題字 関口作治氏

## 社会福祉法人 みるのく協会 基本理念

社会福祉法人みるのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切に、心をこめた介護をいたします。

### 富士見荘の動き

1	18	新春初お笑い会
2	23	布アート教室
	24	富士見荘勉強会

### 富士見荘利用者状況

(平成29年 3月 1日現在)

市 町 村	男	女	計
八 幡 平 市	14	53	67
岩 手 町	0	3	3
その他市町村	0	3	3
合 計	14	59	73

### 富士見荘入退居者状況

入居者	1月	3	(0)	退居者	5	(4)
	2月	5	(1)		4	(1)
	3月	2	(0)		1	(1)

※入居( )内は再入居。退居( )内は死亡。

### 富士見荘短期入所生活介護

市 町 村	1月	2月	3月
八幡平市	271	240	206
他市町村	4	26	35
合 計	275	266	241

### 配食サービス

人数	月	1月	2月	3月
	利用者数		330	265

### ＊編集後記＊

関東では桜が満開を迎えているこの季節は新生活が始まる時期でもあります。社会福祉法人みるのく協会にも新社会人として四月から働く職員がいます。

社会に出ることはこれまでの学校生活とはまったく異なるもので、新社会人の皆さんも不安と期待を胸に抱いて出勤しているかと思えます。そんな中あるサイトで新社会人に向けたアドバイスを見つけました。一つ目は「自分から発信すること」。環境が変わり、学生のような「待ち」の姿勢では成功しない為、自分から発信していく努力が必要とのこと。二つ目は「目の前の仕事を楽しむ努力をすること」。どんなに仕事の知識を身につけてもそれを楽しんでいる人の境地には及ばないとのこと。

新社会人に向けた言葉として紹介されましたが、私にとっても胸にささる言葉でありました。初心に帰るつもりで自分の仕事の仕方を見直してみようと思います。(関川)